NIEしもつけ
ワークシート
下野新聞

㉕

小学校中・高学年向け

年　組

創業120周年を迎えた「サイクルショップサカイ」の4代目酒井清治さん

国内最古参の自転車店

愛されて創業■年

足利の「サカイ」4代目・清治さん

「対面」大切に未来へ

【足利】国内でも最古参の自転車店の一つとされる末広町の「サイクルショップサカイ」が、今年で創業120周年を迎えた。他の業種と同様、自転車店も大型化が進み、ネットによる通信販売も増えてきているが、個人店ならではの強みを生かした対面販売や出張修理サービスに力を注ぎ、同店は「今まで通り、地域に愛される店に」と決意を新たにしている。（松野和彦）

1900年創業。同店によると、初代の酒井次郎吉氏は三輪車などの発明を手掛け、創業当時は輸入自転車の修理販売をしていた。自転車に関する書籍や資料などを所蔵している「自転車文化センター」（東京）の谷田貝一男学芸員は「120年も続いている自転車店は全国的にも極めてまれ」と話す。

戦前、戦中の苦しい時代も切り抜け、75年には現在の4代目酒井清治さん(71)が代表に。自転車販売のほか駐輪場運営などの関連事業、わたらせ渓谷鉄道や上毛電気鉄道と協力したサイクルイベントを開き、自転車ファンの増加に貢献してきた。今月19日にも毎月開いているツーリングイベントを予定している。

ただ、自転車店は近年、ショッピングモールなどへの併設や大型化が進み、個人店は減少。清治さんによると、市内でも80年代には100軒以上あったが、今では「実働の店舗は1桁」という程に減っている。

通販も増えてきているが、清治さんは「乗る人それぞれの体格や使い方などに合わせた一台の提案のため、対面販売は大切」とこだわる。

120周年を機に、同店の強みを生かした小回りの利く出張修理や、家庭で眠っている自転車の再生サービスなどにも力を入れる考えだ。

近く代表を引き継ぐ、5代目になる長男の厚さん(38)も「これまでと同様、お客さんに寄り添った経営を続けたい」と話している。

（2020年７月18日付・下野新聞25面）
記事は加工しています

設　問

【1】「サイクルショップサカイ」は今年で創業何年ですか。

【2】右上の表はサカイの初代店主と現在の店主清治さんの事業をまとめたものです。空らんに当てはまる言葉や数字は何ですか。記事の中から書き抜きましょう。

店主	事業（じぎょう）
初代（①）氏	・（③）年創業 ・（④）などの発明、輸入自転車の修理販売
（②）代目酒井清治さん	・1975年に代表に ・自転車販売、駐輪場運営、わたらせ渓谷鉄道や上毛電気鉄道と協力した（⑤）を開さい ・今後は店の強みを生かした（⑥）や家庭で眠っている自転車の再生サービスなどにも力を注ぎたい

【3】自転車の個人店がへるなか、清治さんが「対面販売」にこだわる理由は何ですか。

出題・監修は宇都宮市小学校教育研究会国語部会・綱川真人宇都宮大共同教育学部付属小教諭